

公益信託うつくしま基金 第6回後期助成活動実績報告書(ホームページ公表用)

平成 年 月 日

1 実績報告者

助成受給者 (団体)名	(フリガナ) アイヅニエヌビーオーノネットワークヲツクロウ あいづにNPOのネットワークをつくろう
----------------	--

2 活動名称

企 業 と N P O の 社 会 的 責 任 を 考 え る セ ミ ナ ー 開 催 事 業
--

3 助成コース・助成額・活動期間

助成コース名	スタートアップ支援コース (10万円以下)		助成額	事業費総額	
	※助成を受けたコースに ○印を付け、助成額・事業 費総額(実績)を記入して 下さい	<input type="radio"/>			100年後も…いきいき ふくしま うつくしま (県民運動) 実践コース
※県民運動実践コースの 場合は右記のどの重点 テーマに該当する活動 か、該当するものに○ をつけて下さい。		<input type="radio"/>	地域コミュニティの再生		
			子育てしやすい環境づくり		
			環境問題への対応		
活動期間	平成20年10月15日 ~ 平成 21年3月31日				

4 実施した活動の実績・成果

<p>(1) 実施した活動の内容</p> <p>企業は、営利を目的とする存在であり、NPOは営利を目的にしない公益性の高い事業を行う。しかし、この両者はともに法人としての社会的な責任を負い、両者が結びつくことで社会は大きく変革する可能性がある。企業は社会的な責任果たすために、NPOとの協働は欠かせない。NPOはその事業目的を達成するための手法やノウハウをもっと企業から学び効果的な資金集めや効率的な目標達成をすべきである。今回は全3回の講座を行い、参加企業、NPOの相互理解を深め、相乗効果を高める試みを行った。</p> <p>以下の内容で全3回のセミナーを実施した</p> <p>1回目：地方の中小企業のCSRと地域の未来 2008年12月9日(火)</p> <p>2回目：企業とNPOが共につくる「世界一簡単なCSRレポート」2009年1月8日(水)</p> <p>3回目：地域にとってかけがえのない存在に成長するために 2009年2月23日(月)</p> <p>すべての講座はワークショップ形式で行う</p> <p>1回目講師：田村太郎(ダイバーシティ研究所)</p> <p>2回目講師：川北秀人(人と組織のための国際研究所)</p> <p>3回目講師：加藤哲夫(せんだいみやぎNPOセンター)</p>
<p>(2) 活動の成果</p> <p>1回目：地方の中小企業のCSRと地域の未来 2008年12月9日(火) 26名参加</p> <p>2回目：企業とNPOが共につくる「世界一簡単なCSRレポート」2009年1月8日(水)</p> <p>3回目：地域にとってかけがえのない存在に成長するために 2009年2月23日(月)</p> <p>事業効果</p> <ul style="list-style-type: none"> *企業にとってCSRとは本業の活動さえも変えてゆくようなダイナミックなものである *企業参加者がCSRについて、企業規模に関わらず考えてゆく事の重要性を理解 *自治体さえも自分たちの活動をキチンと説明できないと生き残れないのが現実 *NPOが企業との協働を具体的に考える場をつくる事ができた *参加者がそれぞれに自分の課題を持ち寄りながら、多様な利害関係者と関わるという事を学んだ
<p>(3) 今後の課題</p> <p>1、地域のNPOの中での学習会等を継続的に組織しながら自分たちの事業の社会的な事業枠組みを考える必要がある</p> <p>2、企業とNPOがともに地域の問題解決をしてゆく場を設定する事が必要</p> <p>3、自治体さえも巻き込みながら、地域を本気で変えてゆく事が必要である</p>

【 活動実績（写真） 】

助成受給者
(団体・グループ) 名

あいづに NPO のネットワークをつくろう

